

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) ドッキョウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) オカベ
獨協大学	経済学部	岡部ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) チョコ	フリガナ) コサカ ミヤビ	5	無	
ちよ子	小坂 雅			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

Bambi～誰もが保育業界を助ける人になる～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちの研究の目的は、**保育業界の保育士不足の解消**をすることです。厚生労働省 (2017) によると、**不足保育士が約 14,000 人**となっています。しかし、**潜在保育士** (保育士の資格を持っているのに、保育に関係した職場に就業していない人) が活躍する場が増えることで、この問題が解決されるのではないかと考えました。さらに、**ちよ子の独自アンケート調査 (n=135)** によると、**幼児と関わる仕事をしてみたい人の割合が 64.4%**ということが分かりました。そこで、**誰もが保育業界を助けられるサポーターとして働くことができるサービス**を提案します。

私たちが将来子どもを授かり、保育園に子どもを預けなければならなくなった時、待機児童になる可能性があります。そうならないよう、**保育士をサポートし、人材不足を解消できるようなサービス**があればと思案し、この提案内容にたどり着きました。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

厚生労働省 (2015) が発表したデータによると、保育士登録者数が約 119 万人に対して、**潜在保育士数は約 70 万人以上**存在しており、保育士登録者数の**半数以上**を占めていました。これらの**潜在保育士の 60.5%**は、今後保育士として再び働

きたいと思っています。しかし、**責任や不安、労働条件**などによって、求職しているのに条件に合う求人がないため、復帰できず、保育士業界の人手不足も解消されないという現状があります。

3. 研究テーマの課題

上記のように、**潜在保育士が保育現場で働いていないことが問題**です。さらに、幼児と関わる仕事に興味を持つ人がいるにも関わらず、その人たちが**活躍できるきっかけが現状では少ない**状況にあります。以上のことから、**潜在保育士と幼児に関わる仕事に興味を持つ人が働きやすい環境を作ることが課題である**と考えました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

潜在保育士と幼児と関わる仕事に興味を持つ人が、人手不足の保育園とつながり、働くことができるアプリ「Bambi」を提案します。「Bambi」を使うと、求職者がサポーターとなり、保育園で**保育補助の仕事**をすることができます。「Bambi」の特徴は特に**7点**あり、以下の通りです。

- ①働く前に**研修制度**がある。
- ②**好きな時間を指定**して働ける。
- ③**空いた時間に近くの場所**を選べる。
- ④**未経験**でも働くことができる。
- ⑤スキルや経験を積むと**給料が上がる**。
- ⑥**保険**が適用される。
- ⑦継続的でなく、**働きたいときだけ**働ける。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

このサービスの利用対象になる**保育園側と一般の方双方**に対してアンケートを実施しました。

まず、私たちのサービスを提案する際に必要となる情報収集のため、このサービスを埼玉県からスタートさせることや大学周辺に保育園が多数あることを踏まえ、埼玉県草加市内の保育園 8 施設の計 79 名の保育士の方にアンケートを実施しました。

また、一般の方に向けて保育業界の希望に関するアンケートを行いました。

そして、このサービスの実現可能性を確かめるため、実際に保育園に訪問・ヒアリングを行い、フィードバックをもらい、一般の方に向けてはこのサービスを使ってみたいかについてアンケートを行いました。

6. 結果や今後の取り組み

結果としては、この**提案の実現可能性を確かめるため**に代表してどろんこ保育園様に伺ったところ、このアプリがあったら**ぜひ使ってみたい**とお言葉をいただきました。そして、一般の人にも聞いてみたところ、**使ってみたい人の割合が 89%**という結果でした。

また、今後の取り組みとしては、保育園側と求職者側に対して営業活動に加えてPRを続け、このサービスの認知と利用者を徐々に広めていき、**保育士不足の解決**につなげていきたいと思えます。

7. 参考文献

- ・ “保育士さんが「辞める」理由とは？ 100 人に聞いたホンネ”。保育士のお仕事レポート。 <https://hoiku-shigoto.com/report/archives/14/>, (参照 2019-08-05)
- ・ “「保育士を辞めたい」その理由とは？ 転職にあたりしてもらいたいことまとめ”。保育士クラブ。 https://www.hoikujyohou.com/hoiku_club/208#i-3, (参照 2019-08-05)
- ・ “保育士等に関する関係資料”。保育士等確保対策検討会。 https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11901000-Koyoukintoujidoukateikyoku-Soumuka/s.1_3.pdf, (参照 2019-08-05)
- ・ “深刻な保育士の人材不足はなぜ起こるのか？”。BOWGL。 <https://bowgl.com/childminder-lack-of-manpower/>, (参照 2019-08-05)
- ・ “ベビーシッターの働き方とは？「派遣会社に登録」と「マッチングサービスの利用」の違いは？”。キズナシッター。 <https://sitter.kidsna.com/sitter/article/way-to-work/759>, (参照 2019-08-07)
- ・ “人材派遣の仕組みについて”。一般社団法人日本人材派遣協会。 <https://www.jassa.or.jp/keywords/index2.html>, (参照 2019-08-07)

- “キッズライン”。<https://kidsline.me/>, (参照 2019-08-07)
- “アドワーズ (Google AdWords) とは”。SEO HACKS
<https://www.seohacks.net/basic/terms/google-adwords/>, (参照 2019-08-07)
- “Google 広告”。<https://ads.google.com/>, (参照 2019-08-07)
- “保育園 ICT 化”。保育園支援ナビ。<https://hoiku-service.jp/guide/22>, (参照 2019-08-07)
- “全国の保育所実態調査報告書”。社会法人全国社会福祉協議会全国保育協議会。
<http://www.zenhokyo.gr.jp/pdf/0805cyousa.pdf>, (参照 2019-08-16)
- “待機児童「改善」のカラクリ”。東京新聞。<https://sukusuku.tokyo-np.co.jp/hoiku/6953/>, (参照 2019-08-16)
- “保育博 2019”。<http://www.hoikuhaku.com/>, (参照 2019-08-19)
- “mica”。<https://www.miica.co.jp/>, (参照 2019-08-20)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください